

コード	名 称	区分	コード	名 称		
事業名	784 成人式開催経費	会計	01	一般会計		
		款	10	教育費		
		項	05	社会教育費		
		目	01	社会教育総務費		
		細目	430	社会教育推進経費		
基本	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる	細目	430	社会教育推進経費	
施策			細目	01	成人式開催経費	
行革大綱の重点事項番号						
担当部課	コード	450400	担当者	前田理恵	連絡先	22 - 9679 (内線) 3831
	名 称	教育委員会 生涯学習課	氏 名			

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	新たに新成人になった市民	※対象件数
成果(どうする)	新成人を祝い、成人となったことを激励することで、新成人としての自覚を持ってもらう。 成人としての自覚を持つことにより、学習する意欲を高め、社会の構成員として活動を活発にする。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	中学校時代の恩師から、新成人に向けてのビデオメッセージ 成人式式典	
社会情勢の変化等	新成人を迎える伊賀市民が年々減少しているが、式典参加者率は、ほぼ横ばいである。式典に関する問い合わせから考えても、成人式への関心は高いようである。ただ、この一部であるが、アルコールの持込みや、実費者への着席、壇上へあがるなどの行為は、毎年起こっている。これらに対する策として、新成人が成人式の企画に参加する実行委員の募集を行っているが、例年応募者はない。そこで、これら総合的な観点から短時間に成人式を終了することが時勢に対応していると判断している。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
実行委員会開催回数		回	目標 1	目標 1	1	1
			実績 0	実績 0		
参加者数		人	目標 895	目標 895	800	800
			実績 876	実績 780		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
新成人参加率		対象の新成人に対して参加した新成人の率。新成人への呼びかけの成果が判断できる。	%	目標 77	目標 77	77	77
				実績 77	実績 74		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	直接事業費計(A)	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
		1,351	1,351	1,267	1,267
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	0	0		
	一般財源	1,351	1,351	1,267	1,267
	事業投入人件費(B)	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440
	フルコスト(A)+(B)	2,791	2,791	2,707	2,707

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	成人式典に参加することで、社会人としての自覚を高め、社会の構成員として学び成長する決意を新たにすることをなくすことになる。また、地域活性化(携わる業者)の妨げにもなる。	○
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	ふるさと「伊賀」への愛着心を育む。
	当初設定した計画を 60%以上80%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	もう少し早い時期に案内ハガキや広報、ホームページで案内する。
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
効率性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	一部の参加者が原因で、毎年会場が荒れることが多く、検討することが必要である。全国の動向も踏まえ引き続き中学出身校別実施や全面廃止も視野にいて考えていく。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 施設内外各所に職員を配備し、予想されうる違法な行為を未然に防ぎ、式典を無事終えるために配慮した。そのため、一昨年と比較すると穏やかではあった。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	横田ちえみ
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 成人式式典については、一部の参加者による不法な行為は見受けられるが、新成人としての自覚を持つための機会であり継続をしていくための方法について検討が必要と考える。
現時点における課題、その他	式典において、一部の者による来賓者への暴言、飲酒をしての参加が見受けられる。
課題、その他に対する改善策	不法な行為を未然に防ぐため、施設内外に職員を配備する。
(いつまでに、何を、どうする)	